

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご家族への介護計画の説明・話し合いについて、全てのご家族からは両方とも行ったとの印象が得られていない。	介護計画の見直し時にはこれまで以上に綿密な説明と話し合いを行い、ご家族に納得して頂けるようにする。	面談において、十分なお説明をこれからも継続する。また、家族の望まれることや思い・意見を言いやすい雰囲気作りを心がけ、十分に汲み取る。お忙しいご家族にもお願いして十分な面談の時間を作って頂く。	12ヶ月
2	23	ご家族の印象として、本人の思いや願い・要望がわかってもらえているという点での評価が前回より下がっている。	本人の思いや願いを的確に汲み取れるよう努力してQOLの向上を目指すと共に、ご家族にも安心して頂けるようにする。	日々のケアの中でご入居者様の意向をより汲み取るよう努める。面談や報告の機会に、本人の意向についてきちんと報告する。ご本人の思いを正しく汲み取れるよう、ご家族にも協力して頂く。	12ヶ月
3		ご家族の印象として、入居者様の暮らしぶり・健康状態等の報告が前回より減っている。	ご家族がいつもご入居者様の暮らしぶりや健康面のとこなど「把握できているという」印象を持って頂けるようにする。	面会に来られた時、報告を欠かさない。個別の「たより」を月一回のペースで送り、なかなか来られないご家族や忙しいご家族にも報告をする。施設での生活が安定している方にも報告を欠かさない。小口預かり金の報告の頻度をより高める。	12ヶ月
4	10	家族会のような、ご家族同士の横の繋がりがあまり見られない。	ご家族の意向を尊重しながら、ホームが集合場所となるような役割をしていきたい。	ホームがイベント等の場を提供して、ご家族同士が親しくなれるような交流の機会を作る。職員全員がご家族に親しみを感じて頂けるような対応をする。施設任せではなく家族へケアの連携の要請を継続する。(外出・面会など)	12ヶ月